



第2740地区 創立/1990年9月29日 認証/1990年10月22日

# 佐世保中央ロータリークラブ週報

会長：八重野 一洋 / 副会長：井手 陽一 / 幹事：筒井 琢磨



2024~2025年度クラブスローガン

Taste of Rotary

「陽転思考」受容の精神で奉仕の心を

週報編集 / 公共イメージ・会報委員会：委員長 / 稲次 賢一 副委員長 / 井上 亮

委員 / 鶴田 明敏、古川 直記、田舎 豪裕、崎元 英伸、香月 章彦、宮崎 正典

本日の出席率 80.43%：会員数 53名・出席 29名・欠席 7名・出席規定免除会員 8名・ビジター 1名  
 前々回の修正出席率 87.75%：出席 33名・メークアップ 0名



## 会長挨拶 / 八重野 一洋君



こんにちは。先週土曜日に芥川委員長のお父様逝去の訃報が入りました。圭一郎君が入会する随分前にガバナーチャンプをされた時、田端君のお父さん田端茂さんがチーフセクレタリーをされ7人の侍と称しセクレタリー団を結成されました。メイキャップに運転手として帯同させて頂きお世話になった記憶がございます。お葬式の際流れたDVDにあった佐世保空襲の話を直接聞いたか何かの記事で読んだのか忘れましたが全く同じ内容のお話でした。心よりご冥福をお祈りしたいと思います。

お通夜やお葬式といえば久しくお会いする方が多いですね、故人がそうやって引き合わせてくれているなども聞いたことがございます。ご縁というものでしょうね。

さて、例会もあと8回となりました、事業そのものは全て終わり終盤を迎えております、新入会員さんの入会式、残りの理事会、新旧合同理事会など大事な案件は残っておりますのでしっかりとこなしたいと思います。

本日は岡光正会長エレクトによる第8回クラブ協議会となっております、後ほど早速次年度会員増強委員会によるメークアップ事業についても馬渡次年度幹事より説明があると思います。

\*ハウステンボス佐世保ロータリークラブ

日時 5月13日（火）18:30～  
 場所 アルカス SASEBO 音楽鑑賞例会のため  
 日時 5月27日（火）18:30～  
 場所 大村市「たけみ」夜例会のため



## 結婚記念日

4月 6日	古川 直記・敏子	ご夫妻
4月 13日	池永 隆司・智恵子	ご夫妻
4月 20日	香月 章彦・貴子	ご夫妻
4月 23日	前田 真澄・ひとみ	ご夫妻
4月 29日	西村 浩輝・雅子	ご夫妻
4月 29日	山瀧 正久・秋子	ご夫妻
4月 29日	宮崎 宗長・可苗	ご夫妻

## Birthday

## 今月のお誕生日会員

昭和24年4月1日	指山 康二君
昭和35年4月15日	前田 真澄君
昭和39年4月17日	香月 章彦君
昭和39年4月13日	古賀 勝君
昭和53年4月8日	古賀 友里恵君



## Report 幹事報告 / 筒井 琢磨君

### 1. 例会変更・休会

\*佐世保南ロータリークラブ

休会 5月2日（金）

\*佐世保東ロータリークラブ

休会 5月1日（木）・5月29日（木）

## (^\_~) ニコニコボックス

### 八重野 一洋会長・井手 陽一副会長・筒井 琢磨幹事

本日は岡会長エレクトによる卓話です。いよいよ次年度が始まっています。残り2ヶ月最後までしっかりと全うして参ります。本日もよろしくお願ひ致します。

### 西村 浩輝君

結婚祝いのお花ありがとうございます。毎年楽しみに待っています。

### 竹本 慶三君

4月15～18日台湾に行ってきました。台北近郊には数度行っていますが、台南、台中、高雄を始めて訪問しました。近場の交通機関を使用してのツアードです。天気にも恵まれて楽しい街歩きをしてきました。メンバーは現地集合現地解散、全国の9名で参加しました。

### 大久保 厚司君

久しぶりの参加です。楽しみにしています。

### 前田 真澄君

お誕生日の御祝いと結婚記念日の御祝いありがとうございます。昨夜は4月23日が結婚記念日でしたので、妻の手料理と娘からもらったワインで結婚14回目をお祝いしました。こういう時は後から妻より要求事項が出てきますのでそちらが怖いです。ちなみにゴルフの練習始めました。

### 香月 章彦君

1964年の本日佐世保に産まれ、61歳になりました。

### 宮崎 宗長君

結婚記念日のお花ありがとうございます。いつもきれいなお花ありがとうございます。

### 古賀 勝君、古賀友里恵君

素敵なお誕生日のお花ありがとうございます。

本日の合計	13,000円
本年度の累計	830,500円



### 本日の卓話

#### ◆第8回クラブ協議会◆

### 岡 光正会長エレクト

マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ  
国際ロータリー会長エレクトのメッセージのご紹介。



会員増強と活性化に向けたロードマップについて  
このロードマップは、革新、継続性、パートナーシップ  
という、不可欠な三つの柱に基づいています。これらの  
原則は単なる戦略ではありません。ロータリーを活性化し、  
新たな声や考え方を取り入れ、世界中の地域社会  
への奉仕を強化するための行動の呼びかけです。

世界は、劇的なペースで変化しています。テクノロジー、社会の期待、経済状況は常に変化しており、ロータリーもそれに合わせて進化しなければなりません。革新こそが、変化するこの世界に私たちが適応する手段なのです。若い会員を迎えるだけでなく、目的やつながりを求める年配の方々にも参加していただく必要があります。

私の所属クラブであるサント・アンドレ・ロータリークラブは、150人の会員を擁する活気と伝統のあるクラブです。妻のデニースは、衛星クラブの結成に助力し、50人近い素晴らしい女性たちが自分らしくリーダーシップを発揮できる場を創り出しました。

衛星クラブ、分野特化型クラブ、法人クラブ、パスポートクラブなどは、多様な人びとを惹きつけるために必要な柔軟性の例です。これらのモデルがどこでも通用するわけではありませんが、従来の枠組みにとらわれず未来のロータリアンに働きかける機会をもたらします。

この18カ月間で地球を6周以上した旅の中で、最も健全な地区には、一貫し、団結したリーダーシップという重要な特徴があることに気づきました。ガバナーが前任者の努力を基盤とし、プログラムや戦略が毎年途切れることなく継続されるようにすることで、地区は発展します。一方、トップにおける不和は、时限爆弾のようなものであり、これが会員数の減少という結果を引き起こすことがあります。

この旅から得た感動的な瞬間をいくつかご紹介しましょう。ナイジェリアの第9141地区では、サービスの行き届いていない地域に井戸を建設したり、学校に椅子を寄贈したりすることの素晴らしいインパクトを目の当たりにしました。パキスタンでは、2022年の壊滅的な洪水の被災者が、ただ生き延びるだけの生活からより良い未来へと移行できるよう、ロータリーが支援しているスマートビレッジを訪れました。インドのムンバイでは、ロータリーの補助金で先天性心臓病の治療を受けている子どもたちに会いました。また、別の地域では、緩和ケア病院の外に、がん検診、歯科治療、眼科検診を支援するロータリー財団のロゴが入った救急車が並んでいるのを目りました。インドネシアのランプンで、デニースと私は、700世帯の経済が小規模ながら変化し、米を生産する農家の収入が増えるのをする機会に恵まれました。

継続性とは、画一性ではなく、連携です。地区リーダー同士が連携し、自分の“ガバナーアイド”を越えてロータリーを思い描けば、長期的な成功の土台が築かれます。ロータリーはすでに、毎年リーダーが交代するという独特な課題に直面しています。これ以上、私たちの努力を分散させて、状況をさらに難しくしてはなりません。むしろ、未来のリーダーがさらに発展させていくような協力の遺産を築いていきましょう。

ロータリーがポリオ根絶活動で培ってきた歴史は、私たちに貴重な教訓を与えてくれます。単独でも大きな成果を上げることができますが、力を合わせれば、世界を変えることができるのです。ゲイツ財団、WHO、UNICEFといった団体とのパートナーシップは、230億ドルを投じて40年以上取り組んできたポリオ根絶活動において

て極めて重要な役割を果たしました。ロータリーが単独でこれほどまでに大きな進展を遂げることはできなかつたでしょう。

それならば、会員増強にもこの教訓を活かすべきではないでしょうか。ビジネス団体、専門職団体、教育機関などと協力することで、ロータリーは職業や考え方の多様性を取り入れながら、質の高い会員を引き付けることができます。このようなパートナーシップは、「量か質か」という誤った二者択一を排除します。奉仕と参画というロータリーの価値観を共有する職業人に働きかけることで、世界でよいことをするロータリーの力を拡大できます。

最終的には、私たちのすべての成果、プロジェクト、パートナーシップは会員にかかっています。会員増強とは単に数字を増やすことではなく、集合体として私たちの力をさらに高め、ロータリーの使命を継承していくことです。

第二に、会員数が増えれば奉仕の力も広がります。会員が増えるということは、奉仕に参加する人が増え、地域社会にさらに多くのリソースを投入できることを意味します。

第三に、後継者育成計画が重要です。クラブは成長するか、衰退するかのいずれかであり、安定した会員基盤というものはありません。

私たちは、会員の勧誘と維持を、ロータリー会員の世代から世代へと受け継がれる中核的価値観としなければなりません。そうすることで、ロータリーが今後数十年にわたって活気とインパクトを維持できるのです。

ロータリー会員は行動人です。私たちは変化が起こるのを待つのではなく、自ら変化を起こします。私たちは、よいことのために手を取りあいます。

これが、2025-26 年度の会長メッセージです：「よいことのために手を取りあおう」

「どういたしまして」  
分断されがちな世界において、ロータリーは団結と希望の光となります。私たちのプロジェクトは、人種、ジェンダー、性別、思想、経済的背景の異なる人びとを結びつけ、世界でよいことをするという共通の目的で私たちを一つにします。ロータリーは、より良い人間となり、人びとに奉仕し、末長いインパクトをもたらすよう、私たちを鼓舞します。

この使命を遂行するにあたり、ロータリーの最大の喜びの一つ、すなわち、世界中に友人をつくり、楽しむことを忘れないでください。成長、奉仕、つながりの旅路を共に歩んでいきましょう。よいことのために手を取りあえるロータリーを築き、すべての人にとってより明るい未来を実現させましょう。



S A A : 澤田 磨

次回例会：5月8日 18:30～

memo